

インフロニア B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2025

プロバスケットボール「Bリーグ」の18歳以下の選手が出場する大会「B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2025」が今秋、栃木県の日環アリーナ栃木で開催され、大阪エヴェッサに所属する橿原市の山本大扇選手(16)＝清風高校＝が躍動し、エヴェッサが史上初のベスト4に輝いた。チームは来年2月、東京都の国立代々木競技場で開催される「B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2026」の出場権を得て、ドイツやオーストラリアなどの強豪チームと激突する。

来年、国際大会で世界の強豪チームと激突



大会は、リーグ目標の「世界に通用する選手やチームの輩出」を目標に、全40チームが出場するトーナメント方式で開催。Bリーグの18歳以下の選手で国内最高峰の大会位置付けになる。ベスト4まで勝ち進めると、インターナショナルカップへの出場権を得る。

奈良県橿原市出身の山本選手は、小学生の時に父に手を引かれてBリーグの観戦をしたことを機にバスケットに熱中。文武両道を是とする父との約束で中学受験の合格後、清風中学1年生からバスケットを本格的に始めた。そしてさらなる高みを目指し、B1大阪エヴェッサのU18へ移籍。シューターとして3Pシ

ユートを中心に

めきめきと頭角を現し、中学3年だった2023年の同大会には関西勢のチームでは初となる

中学生での最年少出場(当時14歳)を果たした。

今大会では高校2年生ながらも、チームの中心選手の一人として出場。エヴェッサは初戦(2回戦)で長崎と対決し、山本選手は3Pシュートを沈めて得点し、82-58で圧倒した。大阪はチームとして大会初の勝利になった。

続く3回戦は、優勝候補の一つと目されていた強豪の千葉と激突。山本選手はスタメンで出場し、献身的なディフェンスでチームに貢献。62-61で劇的勝利を収め、今大会で一番の劇的ゲームと評されるゲームを演出し、ベスト8を決めた。エヴェッサはその後、川崎戦でも79-75で勝ち上がり、チーム史上初のベスト4をつかんだ。

指揮したエヴェッサの鳥和成ヘッドコーチは「僕がチームを指導して4年目。その中の中心の山本選手は足を痛めている中、チームを鼓舞するプレーをしてくれた。1点差の千葉戦の劇的な勝利はディフェンスからつかんだもの。これが全てだと思っている。得点力がある選手だが、ディフェンスができるよう

になり、将来必ずいい選手になると期待している」と評した。

山本選手が指導を受けた清風中学校バスケットボール部の長谷川徹顧問は「中学時代と比べても確実に成長し、今回の大会ではスタメンにも起用され、エヴェッサで、本気で頑張っているのが伝わってくる。校内では今でもあいつに立ち寄ってくる。本人は将来プロの場で活躍し、清風中、清風高出身であることを全国にアピールしたいと言ってくれている。自分のことだけでなく、周囲のことも考えることができる、そんな意識の高さを持つ山本選手を今後も全力で応援していきたい」と話す。

ベスト4を決めたエヴェッサは、来年2月に予定されているインターナショナルカップへ出場する。大会に向け山本選手は「チャンピオンシップのベスト4は『これまで鳥H.C.のもとで皆で取り組んできたこと、やってきたことは正しい』という確信になった。今回の千葉戦のように僅差で明暗が分かれる。このことを胸に、一つひとつを丁寧に全力でプレーしたい」と話し、さらなる成長を誓う。



ベスト4までの 歩み	第1試合      2回戦			第2試合      3回戦			第3試合      準々決勝		
	大阪  82	23 - 16	長崎  58	大阪  62	20 - 19	千葉J  61	大阪  79	6 - 29	川崎  75
		22 - 22			17 - 19			26 - 16	
		12 - 11			15 - 13			20 - 18	
		25 - 9			10 - 10			27 - 12	



B1大阪エヴェッサ史上初ベスト4